



2021年11月8日

各 位

会社名 小野建株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 建
 コード番号 7414 東証第一部・福証
 本社所在地 福岡県北九州市小倉北区西港町 12-1
 問合わせ先 代表取締役専務管理統括本部長 小野 哲司
 TEL 093-561-0036

**2022年3月期第2四半期業績予想と実績との差異、通期業績予想の修正、
 剰余金の配当（中間配当）の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ**

2021年8月6日に公表いたしました第2四半期の業績予想と実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2021年8月6日に公表いたしました通期業績予想、剰余金の配当（中間配当）、及び配当予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正について

(1) 2022年3月期 第2四半期連結業績予想と実績との差異（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 103,450	百万円 5,476	百万円 5,602	百万円 3,782	円 銭 178.73
今回実績（B）	103,105	6,860	6,993	4,765	221.11
増減額（B－A）	△345	1,384	1,391	983	—
増減率（%）	△0.3	25.3	24.8	26.0	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2021年3月期第2四半期）	94,073	1,970	2,117	1,416	67.01

(2) 2022年3月期 第2四半期個別業績予想と実績との差異（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 94,731	百万円 4,227	百万円 4,353	百万円 3,039	円 銭 143.61
今回実績（B）	93,609	5,451	5,582	4,058	188.32
増減額（B－A）	△1,122	1,224	1,229	1,019	—
増減率（%）	△1.2	29.0	28.2	33.5	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2021年3月期第2四半期）	87,566	1,567	1,697	1,140	53.94

(3) 2022年3月期 通期連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 220,116	百万円 9,355	百万円 9,558	百万円 6,481	円 銭 306.27
今回発表予想 (B)	216,998	11,144	11,354	7,623	340.57
増減額 (B-A)	△3,118	1,789	1,796	1,142	—
増減率 (%)	△1.4	19.1	18.8	17.6	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	202,825	6,512	6,717	4,508	213.23

(4) 2022年3月期 通期個別業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 201,166	百万円 7,224	百万円 7,426	百万円 5,190	円 銭 245.26
今回発表予想 (B)	197,583	8,269	8,476	5,909	263.99
増減額 (B-A)	△3,583	1,045	1,050	719	—
増減率 (%)	△1.8	14.5	14.1	13.9	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	187,932	5,479	5,662	3,998	189.07

(5) 第2四半期業績予想と実績との差異の理由及び通期業績予想修正の理由

当第2四半期においては、当社グループの主力販売商品である鉄鋼商品に関して原材料価格の上昇を背景にメーカー主導の中で当初の想定以上に市況が上昇したことに伴い、販売価格が上昇いたしました。その結果、在庫出荷分を中心に利益率が向上し、利益が増加いたしました。

2022年3月期通期業績予想につきましては、需要面の早期回復が見込みにくい状況の中で、今後も市況は高止まり傾向が予想されるものの、在庫単価も同様に高くなることから、第2四半期以降の想定利益率は低下傾向となることを勘案したうえで上方修正いたします。

なお、個別業績予想につきましても同様の理由で、上方修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）の修正及び期末配当予想の修正について

(1) 2022年3月期の剰余金の配当（中間配当）

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年8月6日発表)	前期実績 (2020年3月期)
基 準 日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株あたり配当金	66円00銭	54円00銭	20円00銭
配当金の総額	1,541百万円	—	423百万円
効力発生日	2021年12月10日	—	2020年12月10日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 2022年3月期期末配当予想の修正

	年 間 配 当 金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2021年8月6日発表)	54円00銭	38円00銭	92円00銭
今回修正予想		36円00銭	102円00銭
当期実績	66円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	20円00銭	45円00銭	65円00銭

(3) 修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要な施策と認識し、連結配当性向30%を原則として安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。2022年3月期第2四半期の剰余金の配当（中間配当）につきましては1株当たり54円を予想しておりましたが、第2四半期において転換社債型新株予約権付社債の権利行使による発行済株式数の増加はあるものの、上記の業績にしたがい1株当たり66円に上方修正致します。

期末配当予想につきましては1株当たり38円を予想しておりましたが、通期業績を勘案し1株当たり36円に下方修正致します。

これにより、年間配当金は1株当たり102円となり、前期実績と比較し1株当たり37円の増配となる予定であります。

以 上